

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 1日

事業所名 みよし市児童発達支援事業所よつば

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		今年度は、共有スペースを運動遊び等に活用しています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		基準以上の配置をしています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		室内は、バリアフリー化されています。 子どもたちにわかりやすい環境を設定しています。	今後も状況に合わせて安心して気持ちよく過ごせる環境設定に配慮していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日室内消毒を実施、順にオゾン発生器を使用し室内空間の空気洗浄を行っています。また、随時換気を行い室温・湿度の管理をしています。	〃
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		朝礼、終礼、職員会議等で職員で実施しています。 記録に残しています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		平成30年度より毎年実施し、保護者の皆様からの評価の結果を職員間で共有し改善に努めています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		平成30年度より実施。毎年2月末ホームページ掲載しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者による外部評価は行っておりません。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		事業所、市役所、外部研修、実習等計画し知識を上げ学ぶ機会を設けています。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		年4回の個別懇談会等でお子さんの姿、お子さんや保護者のニーズを把握し、支援計画に反映できるようにしています。 保護者に目標整理表をお願いしています。	目標整理表の記入について具体的な記入例等を記載して説明できるようにしていきます。 引き続きアセスメントとニーズを踏まえた個別支援計画を作成していきます。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			今後の課題として一人ひとりに合わせて把握は行っているが、活用しやすいツールについて検討してきたいと思えます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		毎年年度初めにガイドラインの内容を職員間で確認しています。 また、ガイドラインの内容を反映した計画の立案を行っています。	ガイドラインの内容を職員間で理解し、支援のねらいを共通認識できるようにしていきます。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		一人ひとりに合わせた目標達成に向け、集団活動や個別活動を取り入れています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		各クラス及び全体での計画を立案し、実施しています。また、行事については行事担当を中心に行っています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		年間通して、様々な活動を取り入れています。	新しい活動や季節の行事等を積極的に取り入れて、様々な体験ができるようにしていきます。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		発達に合わせたチーム別の活動時間を別に設定して行っています。	お子さんの得意、不得意や特性や発達状況に応じて計画を作成しています。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼で各クラス及び個のねらい等確認して実施しています。	職員間での連携と共通理解を大切に行っていきます。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼で子どもの姿や支援の反省を行い、次の支援内容に生かすようにしています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日活動記録を作成し、終礼等で報告しあい、日々の成長や変化を確認し次に活かせるようにしています。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		基本年2回と必要があれば随時行って計画の見直しを行っています。	モニタリングや面談の結果をもとに検討会で見直し話し合います。
関係機関や保	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が主に参加し、年度初めに職員全員が顔合わせできるようにしています。職員会議で検討し、それ以降は児童発達支援管理責任者と担任等も参加できるようにしています。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて 子育て支援課、福祉課、学校教育課、保健センター、豊田市こども発達センター、親子通園ルームふたば、幼稚園、保育園等連携して支援につなげています。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/		対象のお子さんの利用はありません。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/		対象のお子さんの利用はありません。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行児交流、ケース連絡、移行後支援を実施し支援内容等の情報を共有して相互理解を図っています。	

保護者との連携	チェック項目	はい		いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		学校見学、ケース連絡を実施しています。 また、幼保小連絡協議会に参加し相互理解を図っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		今年度はコロナ禍により研修の機会は減少しましたが尾張東部地区六市一町施設会 西三河地区施設長会 豊田市こども発達センター等の研修に参加し支援に活かしているようにしています。	専門機関との連携を大切にしていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		地域園交流 明知保育園の活動に参加し、交流を大切にしています。	地域との繋がりを広げられるよう努めていきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		自立支援協議会児童部会のメンバーになっています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や送迎時に直接話すようにしています。	引き続き保護者と共通理解を深められるように努めていきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		今年度はコロナ禍ではありましたが進路講演会のみ安全を考慮してを実施しました。	ペアレント・トレーニングは行っていませんが、面談時等に保護者のニーズに合わせて情報提供したり、勉強会等を計画実施できるようにしていきます。
保護者への説明書	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		入所説明会に丁寧に説明をさせていただいています。	わかりやすく説明し安心して利用できるように取り組んでいきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		懇談会でお子さんと保護者の要望を確認し、長期、短期の目標、具体的な支援内容、支援期間や優先順位等を説明し同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		定期的な個別懇談会や個別療育日を利用し、必要に応じて助言や支援を行っています。	随時相談等さらに適切かつ必要な支援援助ができるように努めます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		父母の会の活動としては、特にありませんが、保護者同士の交流ができるよう交流会を実施しています。 また、保護者より依頼があれば全面的に協力しています。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		その都度時間を調整し対応しています。苦情に関しては相談窓口を設けています。	相談や申入れがあった場合は、迅速にかつ適切に対応できるようにします。 苦情解決第三者委員等にその他の窓口もお知らせしています。

員 任 等	チェック項目			工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
		はい	いいえ		
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月よつばだよりを発行送迎時、送迎バス等にホワイトボードでの掲示を行っています。行事の様子等を写真でお知らせしています。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報管理マニュアルを整備し、職員に周知しています。また契約時に個人情報の取り扱いについて説明しています。	細心の注意をはらって取扱うようになっています。
	39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		写真や絵カードなどを活用し一人ひとりの状況に合わせた対応に心がけています。また、文章等も説明の図や例文等を用いたりしています。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		開かれた事業運営を考えていきます。
非 常 時 等 の 対 応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		年度初めに職員間にて各マニュアルの確認を実施しています。避難訓練、不審者訓練等実施しています。避難訓練、不審者訓練等実施しています。	保護者への周知については、毎年感染症マニュアルから抜粋し健康観察のポイントについての文書を配布する等引き続き検討していきます。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月消火避難訓練・不審者訓練を実施しています。反省から職員の動きを確認し、いろいろな想定で訓練を行っています。	災害時の職員の動きを確認し、行動できるようにしていきます。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		4月家庭訪問で確認し、職員間で情報を共有し対応しています。発作が起きた場合の緊急時対応についてマニュアルとチェック表を用いて確認しと薬表及び医師からの指示書を提出していただいています。	毎日の健康観察をしっかりと行い、いつでも保護者と確認できるようにしています。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギー疾患生活管理指導表の提出を依頼し、医師の指示及び保護者からの聞き取りを行って対応します。	保護者からの聞き取りを職員間で共有し、食事の提供について細心の注意をはらい確認をして対応していきます。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットが起こった時には報告書を作成し職員間で検証し改善して取り組んでいます。	職員会議で、情報共有し、事故が起こらないように留意していきます。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		今年度7月に子育て支援課主催の研修に参加し、8月に研修会を実施しました。	年度初めに子育て支援課主催の研修に参加できるようにしています。また、チェックリストを活用していきます。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		生命の安全を守る等やむを得ない場合について、入所説明会にて説明を行っています。拘束につながりそうな支援について個別支援計画に記載しています。	保護者に重要事項等の説明時に周知しています。実際に拘束する場面はありませんが、やむをえず支援上必要となる場合に実施計画に記載していきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。